

第 68 回岐阜県高校総体テニス競技

新型コロナウイルス感染症への対策について

岐阜県高体連テニス部

標記の感染症が世界的な感染拡大を見せております。県内でも感染が拡大していることに鑑み、例年の実施状況から大きく変更して運営せざるを得ません。国内外のスポーツイベントが中止に追い込まれる中で、高校生テニス選手の健康・安全と、高校生活の中で情熱をかけて部活動に取り組んできた選手の思いを勘案し、本大会が何とか実施できるよう検討を重ねた結果です。ご協力をお願いします。

①本大会の日程を当初の予定から大きく変更します（要項参照）。

②本大会を無観客試合とします。

会場内には選手・顧問・大会役員のみ入場を認めます。

③大会の実施にあたっては

- ・必ず朝検温をして会場に来てください（選手・顧問とも）。
- ・会場では試合中・試合以外の時間とも、身体接触や密集を避けてください。
- ・大会当日まで健康管理や感染回避にも努めてください。

※詳細及びその他の留意点については、注意事項を熟読してください。お互いの安全確保と、試合の円滑な運営にご協力ください。

【本件に関する問い合わせ先】

県委員長：高木 一輝（岐阜北高校）
(090-8185-1729)

高体連テニス部 注意事項（令和2年度岐阜県総体版）

0. 新型コロナウイルス感染症とその対策について

- ・県総体（地区予選含む）開催期間に、大会関係者（選手・顧問・役員）に新型コロナウイルス感染者が出た場合、大会を中止する。
- ・感染者との濃厚接触者は、経過観察期間中（14日間）に発症せず、かつPCR検査が陰性であった場合に限り大会に参加することができる。
- ・試合当日に、「37.5℃以上の発熱の見られる者」「咳をする者」「体のだるさや息苦しさをを感じる者」については大会への参加を認めない。
- ・選手に参加の意思があっても、感染者様症状を呈する選手には、大会側から出場辞退を求める。
- ・団体戦・個人戦とも無観客試合とする。選手・顧問・大会役員のみが会場への入場を認められる。（選手以外の部員、保護者、OB・OG、コーチ等の会場への入場は認めない）
- ・長良川テニスプラザ・Aコートの観覧スタンドを、原則として使用禁止とする。また、待機時には各学校が会場内に分散し、選手が密集することのないよう互いに配慮する。
- ・朝の受付後速やかに、顧問が本部に検温報告票（HPよりDL、または受付時に配付）を提出する。
- ・試合中以外は原則マスクを着用し、手洗い・うがいを励行する（試合中もマスク着用可）。また、試合後の握手、試合中のハイタッチ、試合前の円陣など、身体接触を自粛する。
- ・応援は拍手のみとする。
- ・更衣室は更衣のみに使用し、多人数が集中しないようにして短時間で退室する。
- ・その日の試合日程が終了した選手は、極力早く会場を離れ、帰宅する。

1. 団体戦について

- ・試合はダブルス・シングルス1・シングルス2の3試合をこの順に行い（2つ以上の試合を同時に行うこともある）、原則として2回戦までは3試合すべてを行う。
- ・選手登録は5名で、同一対抗でダブルスとシングルスの両方に出場することはできない。
- ・シングルスは、登録順位上位の者がシングルス1となる。
- ・各試合とも1セットマッチ（6-6後タイブレイクゲーム）とするが、準決勝・決勝・フィードインコンソレーション（同地区同士でも実施）は8ゲームプロセットマッチとする。
- ・登録監督または登録選手に限って、1コートに1名のみベンチコーチに入ることができる。
- ・選手は、エンド交代時の90秒以内のみ、ベンチコーチのアドバイスを受けることができる。
- ・ベンチコーチはマスクを着用し、選手と正対しての会話をしない。
- ・原則として1試合にボールを1缶使用するが、ハードコートで8ゲームプロセットマッチを実施する場合のみ、9ゲーム終了後、ボールチェンジを行う。

2. 個人戦について

- ・各試合とも1セットマッチ（6-6後タイブレイクゲーム）とするが、全国総体出場に直接関わる試合以降は8ゲームズプロセットマッチとする。（男女シングルスでは、準決勝・決勝・フィードインコンソレーションが、男女ダブルスでは決勝が8ゲームプロセットマッチとなる。）
- ・個人戦ではセットブレイク方式を採用するので、第1ゲーム終了後のエンド交代は25秒以内に行う。
- ・順位決定戦（男女シングルス5～8位、男女ダブルス3位）を1セットマッチ（6-6後タイブレイクゲーム）で行う。なお、同地区・同校同士でも順位決定戦を行う。
- ・原則として1試合にボールを1缶使用するが、ハードコートで8ゲームプロセットマッチを実施する場合のみ、9ゲーム終了後、ボールチェンジを行う。

3. 試合の審判と結果の報告について

- ・ 全試合をセルフジャッジで行い、審判・ボールパーソンを配置しない。
「フォールト」「アウト」「レット」のコールは、ハンドシグナルとともに相手に聞こえる声で素早く、明確に行うこと。サーバーはサービスを打つ前にスコアをアナウンスすること。ボールの落下点が不明確だった場合、相手に有利な判定を下すこと。
- ・ ドロー番号の若い方の学校（選手）は、試合前に本部で試合球と結果報告票を受け取ってコートに入る。
- ・ 試合が終了したら勝者は結果報告票に最終スコアと自分のサインを記録し、コートレフェリーのサインをもらったのち直ちに本部に結果を報告する。

4. その他

- ・ 各試合とも、ウォーミングアップはサービス4球とする。
- ・ 試合進行はオーダーオブプレイで行うので、本部前のホワイトボードで確認すること。
- ・ 試合当日は、雨天でも受付開始時間までに会場に集合すること。
- ・ 大会日程
選手受付 8：30～8：50（時間厳守）
監督会議 8：30～（個人戦の日は顧問連絡会として実施）
コートレフェリー打合せ 8：40～8：50（コートレフェリーに入る顧問対象）
開会式・諸注意は実施しない（顧問が責任をもって選手に伝達する）
試合開始 9：00（本部より指示する）
- ・ 試合時の服装は、ゲームシャツにショーツまたはスコート（女子はワンピース可）とする。
詳細は全国高体連テニス部の服装規定による。
- ・ 他のごことは日本テニス協会競技規則に従う。また、コートレフェリーの指示に従わない場合は失格とする。
- ・ 選手・顧問が試合を静止画・動画で撮影する場合には、相手校監督ないし、相手選手の許可を予め得ること。なお、会場内に三脚を立てて試合を立てて撮影する場合は通行の妨げとならぬよう、設置者が配慮すること。また撮影機器の紛失などのトラブルについて、大会主催者は責任を負わない。
- ・ この大会によって得られる上位大会の出場数は、下表の通り。

	団体	個人シングルス	個人ダブルス
全国総体	男女各1校	男女各2名	男女各1組
東海総体	男女各2校	男女各6名	男女各3組